

対ジンバブエ共和国 事業展開計画

2018年8月 現在

基本方針 (大目標)	ZIMASSET(ジンバブエ持続的な社会経済移行指針)に資する持続可能な開発
---------------	--

重点分野1 (中目標)	南部アフリカ地域経済への統合の円滑化											
開発課題 (小目標) 南部アフリカ地域 経済への統合の促 進	【現状と課題】 ジンバブエは、2008年のハイパーインフレによる極度の経済混乱後、状況は一定の落ち着きを見せているものの依然として政府財政は低迷が続いており、インフラの整備・維持管理は困難な状況である。南部アフリカ地域の経済統合が進められている中、同地域の地理的中心に位置する同国のインフラ整備の停滞は、同国の持続可能な開発を阻害しているだけにとどまらず、南部アフリカ全体の円滑な発展をも阻害している。					【開発課題への対応方針】 南部アフリカの中心に位置するジンバブエを当該地域経済に円滑に統合させることを主目的とし、同国と周辺地域を結ぶ流通の円滑化や広域インフラの整備等南部アフリカ地域経済の統合を阻害する様々な要因の改善に取り組む。						
	協カプログラム名	協カプログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	備考
					2017 年度 以前	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度		
			南北回廊北部区間道路改修計画 準備調査	協準(一般)								
			南北回廊北部区間道路改修計画	無償		-----	-----				22.88	
			チルド橋梁建設計画フォローアップ協力	F/U								
		質の高い広域イン フラ整備支援プロ グラム T I C A D Vフォローアップの一つで ある質の高い広域インフラ整備に資 する支援を行う。	南部アフリカ地域開発金融機関のためのプロジェクトバリューチェーンの強化	課題別研修他								
			経済社会開発計画(道路用資機材)	無償							6.00	
	ジンバブエ物流競争力向上情報収集・確認調査		基礎調査									
	地理空間情報データベース整備プロジェクト		開発計画									

重点分野2 (中目標)	豊富な資源の有効活用											
開発課題 (小目標) 各種資源の有効活用 のための産業振 興	【現状と課題】 ジンバブエは、鉱物資源のほか、世界有数の観光地であるビクトリアの滝などの観光資源、農業に適した広大な台地・肥沃な土壌といった土地資源、高い教育レベルの人的資源を豊富に有しており、これらを有効に活用することができれば、限られたリソースで極めて効果の高い経済成長を図ることができるはずであるが、しかるべき資源の有効活用ができないために経済状況は益々悪化している。					【開発課題への対応方針】 官民連携も視野に入れながら、同国の有する豊富な資源を有効活用できる産業を可能な限り振興させていくことに資する支援に取組む。						
	協カプログラム名	協カプログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	備考
	農業支援プログラム	高いポテンシャルを有する農業資源を有効活用するため、灌漑整備及び市場対応型農業の促進等を支援する。	灌漑開発管理アドバイザー	個別専門家	2017 年度 以前	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	17.91	
			ニヤコンバ灌漑事業のための灌漑開発計画	無償								
			小規模園芸農民組織化強化(SHEP)分野の課題別研修	課題別研修他								
			小規模園芸農民組織化強化(SHEP)プロジェクト	技プロ			-----	-----	-----	-----	-----	
			南部アフリカ地域持続可能な森林資源管理・保全プロジェクト	技プロ								南部アフリカ広域案件
	人的資源育成プログラム	高い教育レベルを有する人的資源を有効活用するため、官民連携を視野に課題別研修、青年海外協力隊による支援を行う。	ABEイニシアティブ	国別研修								
			民間セクター開発分野の課題別研修他	課題別研修他								
			職業訓練分野の青年海外協力隊	JOCV								
観光資源活用プログラム	豊富な観光資源を有効活用するため、コミュニティベースの観光開発を支援する。	貧困削減に資するコミュニティ・ベースド・ツーリズム計画プロジェクト	開発調査									

重点分野3 (中目標)	貧困層住民に対する人間の安全保障の確保に向けた支援												
開発課題 (小目標) 人間の安全保障の 確保	【現状と課題】 真に持続可能な開発を達成するためには、貧困層を含めて国民一人ひとりがその経済的利益を享受できるような健全かつ平等な社会を実現する必要があるが、そのためにも、まずは、2000年以降の経済混乱等で悪化した国民の生活水準を早期に回復させる必要がある。また、1970年代の独立闘争時に埋設された多くの地雷がモザンビークとの国境付近に残っており、これが付近の住民の生命や生活に対する大きな脅威となっている。					【開発課題への対応方針】 同国の緊急課題である妊産婦及び乳幼児の死亡率の低下への取組に加え、安全な水へのアクセスや衛生環境の改善を目指した地方部での給水改善を中心とした取組、さらには食料安全保障を確保すべく近年の異常気象が国内農業生産に及ぼす影響を緩和するための取組を積極的に支援する。また、地雷の除去に向けた取組を支援する。							
	協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	備考	
	保健、水・衛生改善プログラム		同国の経済混乱等で悪化した国民の生活水準を早期に回復させるため、保健、水・衛生など人間の安全保障を確保するために必要な支援を実施する。	HIV/エイズ対策のモニタリング評価システムと実施の強化	個別専門家	2017 年度 以前	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度		南部アフリカ広域案件
			6S-KAIZEN-TQM手法による医療サービス質向上	現地国内研修									
			ハラレ都市圏上下水セクターにかかる情報収集・確認調査	基礎調査	—								
	教育環境整備支援プログラム		劣悪な教育環境を改善するための支援を行う。 将来教育に従事するであろう人材の育成への支援を行う。 また、スポーツ・情操教育を通しての地域開発及び青少年育成を行う。社会的弱者（障害者）へのスポーツや工作・音楽指導を通じ人間の安全保障に資する支援を行う。	草の根・人間の安全保障無償資金協力及び草の根文化無償資金協力	草の根無償及び草の根文化無償							3.36	
教育分野の青年海外協力隊				JOCV									
その他個別案件		災害等によって劣悪な環境にある貧困層住民に対して支援を行う。 また、モザンビークとの国境付近に埋設された地雷の除去に向けた取組を支援する。	アフリカ災害対策等人道支援(WFP、UNICEF、WFP連携) (平成29年度当初・補正予算)	マルチ							1.5百万USD	UNICEF、WFP	
			草の根・人間の安全保障無償資金協力	草の根無償							0.69		

開発課題 (小目標)	その他の支援分野								支援額 (億円)	備考		
	協カプログラム名	協カプログラム概要	案件名	スキーム	実施期間							
					2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度			2021 年度	2022 年度
その他	その他個別案件	国別援助方針に基づいた円滑な事業展開の推進	ODA アドバイザー	個別専門家								
			経済社会開発計画(サイバー・セキュリティ機材)	無償		-----					3.90	

【凡例】 「協準」(=全ての協力準備調査)、「詳細設計」(=詳細設計)、「技プロ」(=技術協力プロジェクト)、「開発計画」(=開発計画調査型技術協力)、「個別専門家」(=個別専門家)、「個別機材」(=個別機材)、「国別研修」(=国別研修)、「課題別研修他」(=課題別研修及び青年研修)、「JOCV」(=青年海外協力隊)、「SVV」(=シニア海外ボランティア)、「第三国専門家」(=第三国専門家)、「第三国研修」(=第三国研修)、「現地国内研修」(=現地国内研修)、「科学技術」(=科学技術協力(技プロ型及び個別専門家型))、「草の根技協」(=草の根技術協力)、「〇〇省技協」(=外務省・JICA以外の省庁及び独立行政法人等が実施している技術協力)、「民間提案型技協」(=開発途上国の社会・経済開発のための民間技術普及促進事業)、「無償」(=無償資金協力)、「有償」(=円借款、海外投融資)、「マルチ」(=国際機関等を通じた多国間協カスキーム)、「中小企業支援」(=中小企業海外展開支援事業「ニーズ調査」)、「案件化調査」及び「普及・実証事業」並びに中小企業連携促進基礎調査)、「F/U」(=フォローアップ協力)、「実線「———」」(=実施期間)、「破線「- - - -」」(=実施予定期間)